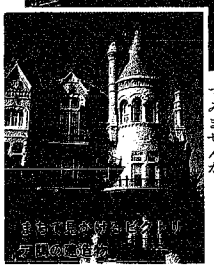
国際交流の大きな第一歩となったガルベストン市、ハバロフスク市との姉妹都市提携が今年は三十周年を迎えます。この姉妹・友好都市、ハルピン市とウラジオストク市も含め四都市あります。本紙では四都市の様子を紹介します。

2月には友好の翼がとぶ
ガルベストン

メキシコ湾に浮かぶ島の都市、ガルベストンは人口五万九千人の港湾都市です。三〇㌔ほど離れたアメリカ本土とは、高速道路と鉄道の橋によって結ばれています。本市とは一九六五年一月二十八日に姉妹都市となり、今年で三十年を迎えます。市民交流が盛んで今年二月に開催される最大の祭り「マルディ・グラ」には、今回で六回目となる友好の翼が市民約二百人を乗せて飛び立ちます。

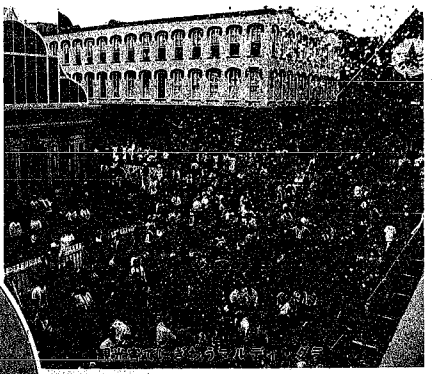


温暖なリゾート地

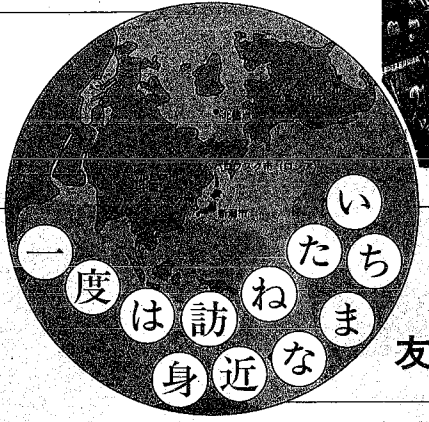
ガルベストン市は温暖な気候のため海水浴などのリゾート地としてにぎわいます。雄大なテキサス州にあって、人にやさしく、夢は大きく、といったテキサス魂が息づいています。

古い建築物がたくさん保存され、公開されています。最近は観光にも力を入れ飛行機や自動車の博物館、レクリエーションなどの施設が数多く整備されています。

ガルベストン市へは、NASAやアストロドームで有名なヒューストンを経由するコースが一般的。海外旅行先のひとつとして考えてみませんか。



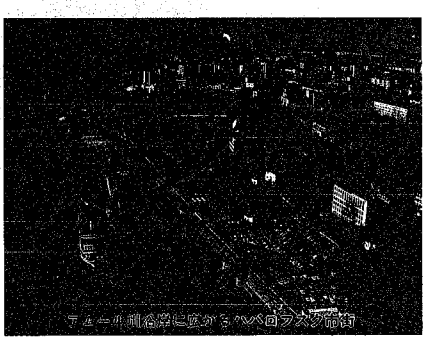
交流が広がる 姉妹・友好都市



ガルベストンはハバロフスク 友好を深めて30年に

スキーを楽しむ子どもたち（上）と、厚さ1mを超える氷に穴を開けて釣りを楽しむ人たち（左）

ロシア極東の空の玄関口
ハバロフスク


アムール川沿岸に広がるハバロフスク市街

ハバロフスク市はアムール川沿岸にある人口六十二万人の都市。ロシア極東の空の玄関口です。夏は三〇度以上まで気温が上がる一方、冬はマイナス三〇度以下にもなります。本市とは一九六五年四月二十三日に姉妹都市提携。以来、経済、文化交流をはじめ、子どもたちの交流も盛んに行われています。

自然に恵まれたまち

冬にはアムール川が凍り、魚の穴釣りが盛んに行われます。自然に恵まれ、多くの人が山をスキーで歩くクロスカントリーや狩猟を楽しんでいます。夏は壮大なアムール川の遊覧が観光の目玉となっているほか、川岸は、水泳や日光浴を楽しむ人たちでにぎわいます。

七三年には本市にとっては初めての国際航空路が開設され、直行便で二時間です。

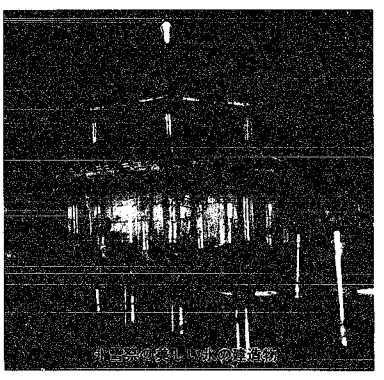
16年目を迎えた 氷の都 ハルピン

ハルピン市のまちなみ

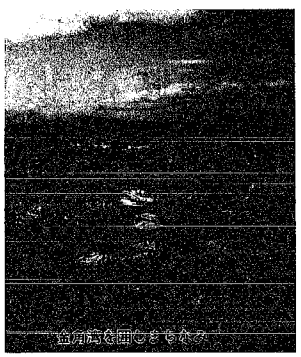
ハルピン市は人口五百五十六万人の中国・黒龍江省の省都。十九世紀にロシア人によって街がつくられた呼ばれ、一月には盛大に「氷雪祭」が行われます。イベントの一つ、氷彫刻コンテストには新潟市チームも参加しています。

本市とは一九七九年十二月十七日に友好都市提携。昨年は提携十五周年に当たり活発な経済、技術、文化交流が行われました。提携十年を記念して造られた日本庭園「友誼園」にはミニ万代橋もあります。

ハルピン市へは新潟空港金曜日出発のハバロフスク便を利用し、乗り換えをするとその日のうちに着くことができます。



市民交流がさらに盛んに
もっとも新しい姉妹都市 ウラジオストク



人口六十七万人のロシア極東地方最大の都市ウラジオストクは、サンフランシスコ、シドニーとともに世界天然良港の一つといわれ、ヨーロッパへ向かうシベリア鉄道の起点です。

冬はまちのあちこちにアイスリンクが出現し、スケートを楽しみます。また、わかさぎ釣りや寒中水泳、クロスカントリーも人気があります。

本市とは一九九一年二月二十八日に姉妹都市提携。客船航路と航空路で結ばれており、飛行機で一時間二十分です。